

朴 光駿

佛教大学 教授

## 介護保険制度の財源構造に関する日韓比較研究

2000年に導入された日本の介護保険と2008年導入された韓国の介護保険には多くの共通点があるが、その財源構造は異なる。本研究は、日韓介護保険における財源構成要素を比較分析することによって、財源構造の違いを明らかにし、その違いをもたらした要因が何かを明確にすることを目的としている。

日韓介護保険は社会保険として導入されているので、その主な財源は介護保険料、公費、利用者本人負担の三者であることは共通している。しかし、それぞれの財源構造には、両国間に大きな違いがある。日本とは違って、韓国介護保険の被保険者は全国民をカバーする健康保険の加入者と規定されていて、多くの高齢者は健康保険の被扶養者として登録され、介護保険料を負担せずにその給付受給者になっている。本研究においては、両国間の財源構造の相違を明らかにし、とくに韓国介護保険の場合、介護保険料を払わず介護保険給付を受給している高齢者がどれほどいるのかを推定する。そして、そうした制度の歴史的経路を明らかにする。